

令和7年度公共ライドシェア実証運行及び令和8年度の取組について

(裾野市 都市計画課)

1 概要

公共交通に関する取組みについては、令和4年度から令和9年度の期間において「裾野市地域公共交通計画」に基づき事業を行っている。具体的な取り組みとしては、市内循環線の再編を実施するなど、事業を行い利用者の利便性の向上を図ってきた。

公共交通に関しては、市民意識調査の結果から市民満足度も低く、公共交通網の維持確保、新たな公共交通システムの導入、市民・公共交通事業者との調整などの課題も多い。

令和7年度に、国土交通省で新設された「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(「交通空白」解消緊急対策事業)の補助を活用し、スマートフォンGPSデータなど市内全域のビッグデータを活用した分析調査と公共ライドシェアの実証運行を実施した。

○令和7年度実施事業(国庫補助事業)

- ・市内全域のビッグデータを用いた分析、市民の移動目的と需要を調査
- ・通院はあるものの、買い物などの用途が多く、その他通学・通勤が主
- ・須山地区では、特に中高生を中心に「移動の不自由さ」が課題
- ・アンケート調査の実施(通学・部活動・友人との交流・塾通いなど、日常生活に支障)
- ・約1ヶ月の実証運行。(実利用者19人、延べ利用者113人)一便あたりの平均乗車人数2.4人
- ・朝の時間帯は高校生を中心に一定程度需要があった

2 令和8年度事業概要

令和7年度の実証運行結果をもとに、乗降場所の追加を検討し、通学時間帯の定時定路線型と新たに昼間を対象に区域型の実証運行を3ヵ月間行い、利用者数や利用時間帯、移動目的を検証することで、地域に必要とされる移動サービスとなるか検証する。

3 実証運行予定時期

令和8年11月～令和9年1月

4 事業概要

- ①路線定期運行(6時～8時、17時～20時)
- ②区域運行(8時～15時)

5 事業費

「交通空白」解消緊急対策事業の補助を活用予定。

※市予算で本協議会予算とは別。